

堺スマートシティ戦略

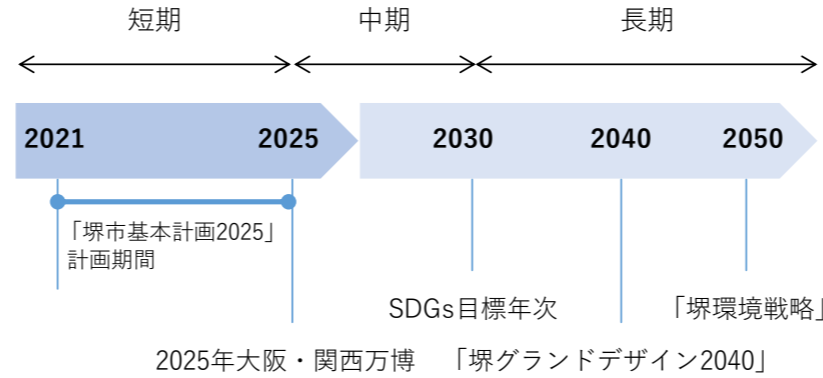
1. 戦略の位置づけ・意義

1) 戦略の位置づけ

- 本戦略では、先端技術を活用したスマートシティの実現に向けた基本的な考え方や取組の方向性を定める。
- 2025年度をターゲットとしつつ、本市の長期的な将来像とスマートシティが一体となって実現されるよう定める。
- 「堺市基本計画2025」をはじめとした市の計画・施策の目的や目標の達成をめざす。

2) 本市がスマートシティに取り組む意義

- スマートシティは限られた人材や財源のもと、多様な主体が知恵とノウハウを発揮し、公民の新たなパートナーシップを通じて地域課題の解決をめざすもの。
- 持続可能な都市経営の実現のためには、都市や地域の将来像を見据え、スマートシティの取組を推進し、都市魅力の向上をめざすことが重要。



2. 戦略策定の背景

- 人口減少・高齢化とライフスタイルの変化
- SDGsへの関心の高まり
- Society5.0の実現
- スマートシティの発展
- 新型コロナウイルス感染症の影響による新しい日常（ニューノーマル）への移行
- 公共のあり方の変化
- 都市の魅力向上

3. 戦略の全体像

1) 堺スマートシティの理念

ICTの活用により、まちと暮らしにイノベーションを生み出し、未来を創る

- 本市がめざすスマートシティは、ICTを活用し、異なる主体・領域の取組やアイデア、知見等の結合に加え、新たな切り口や捉え方などでトライすることで、新たな価値を生みだし、まちと暮らしの未来に変革（イノベーション）をもたらすもの。
- スマートシティの取組の推進には、多様な主体が共通の課題認識や目標を持つことが重要。
- スマートシティの理念を明確化し、多様な主体の連携のもと、地域の課題を解決し、市民の暮らしの質の向上を図り、本市ならではの都市魅力を創造する。

2) スマートシティ実現によるまちや暮らしのイメージ

- 「堺市基本計画2025」の重点戦略を踏まえ、本戦略により導かれる中期的（2025年～2030年）なまちや暮らしのイメージを示す。

堺市の都市像（堺市基本計画2025）

未来を創るイノベティブ都市 変化を恐れず、挑戦・創造しつづける堺

◇重点戦略

堺の特色ある歴史文化
～Legacy～

人生100年時代の健康・福祉
～Well-being～

将来に希望が持てる子育て・教育
～Children's future～

人や企業を惹きつける都市魅力
～Attractive～

強くしなやかな都市基盤
～Resilient～

スマートシティ

◇スマートシティにより導かれる中期的なまちや暮らしのイメージ



AR活用などによる周遊案内



どこからでもつながれる文化体験



ロボット技術などによる高齢者などの見守り



身近な地域での健康増進



ICTを活用した次世代の学習支援



デジタル技術活用による多様な遊び



仕事環境が充実したりリモートワークタウン



様々な交流を生む地域SNSサービス



市民向けの防災情報の充実



IoT技術の活用による迅速なインフラ老朽化対応

4. 戦略方針

戦略方針1 イノベーションを実装する環境をつくる

- 仮説の立案、挑戦と実績の積み重ね
- 規制改革などを含めたコーディネート機能の強化
- 公民共創の推進

戦略方針2 課題解決型プロジェクトをスピーディーに実行する

- 課題解決型プロジェクトの推進

戦略方針3 データ連携により新たなサービスを創出する

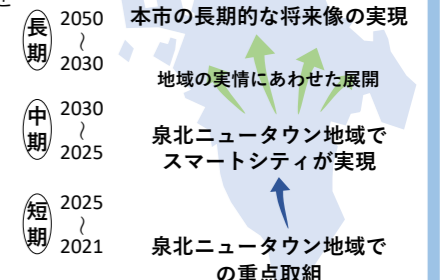
- 多様なデータの蓄積、分析、活用

戦略方針4 重点的に取り組む（重点地域）

- 重点地域の設定
- 土地利用転換の機会をとらえた一体的な推進

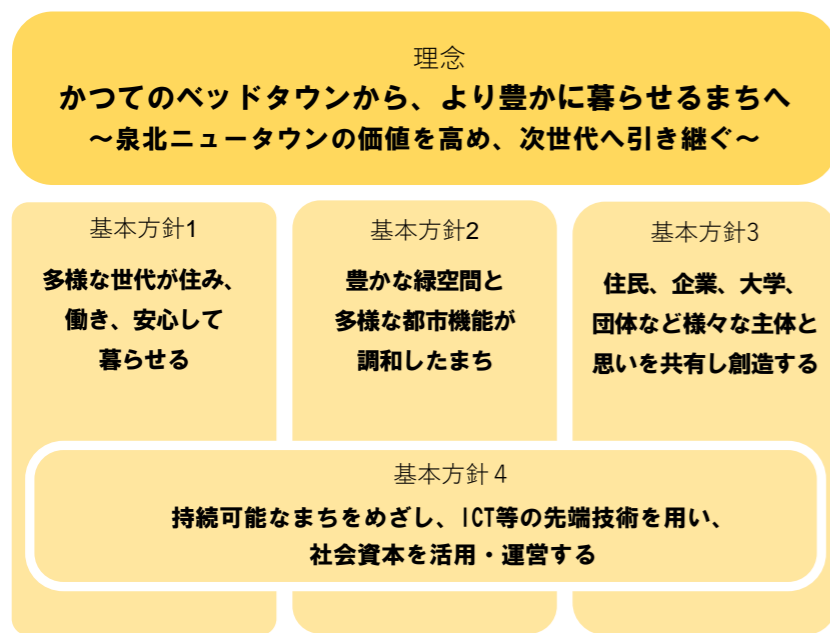
【重点地域：泉北ニュータウン地域】

- スマートシティは、人が住み、活動する地域、今後土地利用転換が多く見込まれる地域での実施が効果的。
- 泉北ニュータウン及び、泉北ニュータウンと一体的な日常生活圏を構成しているエリア（泉北ニュータウン地域）を重点地域とする。
- 取組成果を全国のニュータウン再生のモデルとする。そこで得られたノウハウを活かし、地域の実情に合わせ市全体への展開を図る。



5. 重点地域 ～SENBOKUスマートシティ構想～

1) 「SENBOKU New Design」における基本方針



2) SENBOKUスマートシティ構想のコンセプト

- ICTを活用した課題解決、暮らしの質向上（Live Smart）を図り、暮らしを愉しむ（Play SENBOKU）ことのできる価値創造と、地域魅力の向上。
- 暮らしや働き方の利便性を高め、効率化・合理化・省力化によって生まれる“アソビ”（余白の時間、魅力的な都市空間）や、公園・緑道、ゆとりある住環境等の地域特性を活かし、暮らしを彩る“愉しみ”を創造。



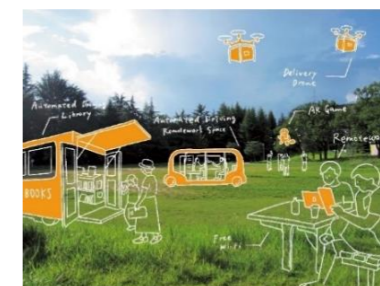
◆ SENBOKUスマートシティの風景（2025年～2030年）



多種多様な滞在・交流ができる駅前



多機能な近隣センター



多様な過ごし方のある公園



交流拠点となる緑道沿い

3) 取組テーマとプロジェクトの展開イメージ

取組テーマ	～2020	2021	2025～2030		
ヘルスケア 多世代の健康を支える	地域のつながりとICTによる多世代の見守り	コミュニティによる見守りネットワーク	高齢者などの見守り・生活支援の実証	民間主体の見守り事業の実装化	ICT活用の見守りや介護予防、認知症の早期発見などの仕組み構築 健康増進先進地域の実現
	介護予防や認知症予防	介護予防教室など 認知症の早期発見・共生	介護予防などの実証 認知症の早期発見・生活支援の実証	民間等連携による介護予防事業や認知症の早期発見・生活支援事業の実装化	
	生きがい創出・健康増進	生活習慣病予防の講座や相談	健康管理などによる生活改善の実証	民間等連携による生活習慣病予防事業の実装化	
モビリティ 便利で快適な移動環境を構築する	オンデマンド交通	ラストワンマイル自動運転実証	近距離のオンデマンド交通の実証	自動運転化を含めたビジネスモデルの確立と民間連携による実装	多様な交通手段とサービスが連携した便利で楽しい生活型のMaaSの実現
	楽しい移動手段の多様化	シェアサイクル実証	パーソナルモビリティの実証	パーソナルモビリティ等シェアサービスの実装	
	サービスのモビリティ化	移動販売などの実証	公共公益施設での生活サービスのモビリティ化	民間主体による実装	
コミュニティ 多様な人々と交流する	行政・地域の情報共有	SNSなどを活用した情報提供	行政の情報発信・手続き、住民の声収集等	スマート区役所の実現	地域内外の人の交流・取組への積極的な参加 多様な主体による交流、地域力向上
	住民同士の交流促進	イベント開催	情報共有や交流できる地域SNSの活用	地域SNSやAIを用いたマッチング	
	交流を愉しむツール多様化		AR技術などによる交流ツール、公益施設での利用環境整備		
リモートワーク 身近に働く場をつくる	リモートワークタウンの実現	区役所内のテレワークオフィス整備	公共Wi-Fi整備、民間企業によるシェアオフィス等の整備	民間サテライトオフィス、周辺部のコワーキングスペース整備	様々な場所で仕事環境の実現 事業所誘致など、多様な仕事創出
	次世代ヘルスケア産業の創出	新事業の実証	新事業の社会実装	次世代ヘルスケア産業の企業誘致	
エネルギー 脱炭素エリアをめざす	地域エネルギーネットワークの形成	民間施設における地域冷暖房 創エネ・省エネ機器導入への支援	拠点や公共施設・民間施設などにおける省エネルギー技術や再生可能エネルギーの導入 公的賃貸住宅の活用や住宅におけるZEH(+R)化や再生可能エネルギーの利用拡大	民間サテライトオフィス、周辺部のコワーキングスペース整備 次世代ヘルスケア産業の企業誘致	エネルギー相互融通の実装 MaaSと再生可能エネルギーの連携
	エネルギーとモビリティの連携	災害時のモビリティ活用協定	EVや次世代モビリティを移動電源として住宅などへの供給や災害時利用		

4) 土地利用転換の機会をとらえたスマートシティの推進

- 土地利用転換の機会をとらえ、各主体と連携し複合的に取組を推進
- 公的賃貸住宅の集約化による活用地の創出、駅前や近隣センターの再整備などの機会を活かし、多分野のプロジェクトの展開を図る。

【想定するプロジェクト例】



モビリティやヘルスケア、エネルギーなどがネットワーク化された暮らしやすいまち



公的賃貸住宅の建替え余地を活かしたゼロエネルギータウンの開発

5) 推進体制と本市の役割

- 取組テーマを中心としたプロジェクトによる分野を横断体制で進める。

【本市の役割】

- ①多様な主体との提案・参画を促す情報発信・窓口機能
- ②多様な主体と国や府、地域とをつなぎ、実現へと導くコーディネート機能
- ③各プロジェクトを俯瞰的にマネジメントし、スマートシティを推進する機能

